



日 時	平成24年4月21日(土) 9時30分~12時
場 所	新赤坂事務所：港区赤坂2-10-17 石原ビル2F
出席者	出席：土屋、青木、竹政、岩下、平山、木村、西川、日野 (監事) (skype): 正岡、神野、川村、阪井
欠席者	委任：金城 (議長)、丹下 (監事)
議 題	特別事項 審議事項 1 書記・承認者指名 (会長) 2 3月度議事録確認 (総務部会) 3 会員入会承認・退会確認 (会員部会) 4 2012年度JSPE方針・モットーについて (会長) 5 2011年度決算承認 (会計+監事) 6 2012年度予算案承認 (会計部会) 7 6月総会準備 作業分担・スケジュールの確認 (総務部会) 8 見学、セミナー計画 (教育部会) 9 7月NSPE総会派遣募集案 (渉外部会) 10 慶弔規定案 (総務部会) 報告事項 1 総会での会員表彰中間報告 (会員部会) 2 メキシコ湾深海石油開発事故に関する情報調査タスクフォース進捗 (会長) 3 米国大使館 National Science Foundation 訪問報告 (渉外部会) 4 事業報告書進捗状況 (企画部会)
添付資料	添付1. 添付2. 添付3.



議事内容	アクション
<p>● 審議事項</p>	
<p>1. 書記・承認者指名 (敬称略) 議長：土屋 書記：平山 議事録承認者：土屋、岩下、竹政</p>	(議長)
<p>2. 3月度議事録確認 承認 下記確認があった。 (2-1) 議事9、名古屋地区でのセミナーに関し、丹下さん知人の名古屋工業大学の先生(化学工学)へのセミナー要請状況は、後日丹下さん、正岡さんへ確認が必要。 (2-2) エンジニアリードカードの配布は今後一番早い送付物に同封する。年会費請求書はすでに発送されているため、総会案内が最初の送付物になるであろう。もしくは総会出席者には当日手渡し、欠席者には議案書に同封する。 (2-3) 理事の補充は必須であり、早急な対応が必要。鈴木(央)氏、野本氏が候補として考えられる。公募をかけ総会での議案をする必要あり。</p>	(総務部会)
<p>3. 会員入会承認・退会確認</p> <p>新入会員 PEN-0078 上田 貴志 様 (祝賀会出席者) PEN-0079 仁志出 博一 様 (祝賀会出席者) FE-0367 今津 英一朗 様 (祝賀会出席者) FE-0368 佐藤 和弥 様 (祝賀会出席者) FE-0369 梅寺 誠 様 FE-0370 清水 一宏 様 (祝賀会出席者) FE-0371 三野 史朗 様</p> <p>資格変更 なし</p> <p>退会者 なし</p> <p>資格喪失 なし</p> <p>会員数 3月度理事会後 PE 159名 準PE 42名 FE 126名 AF 34名 ST 2名 合計363名 4月度理事会後 PE 154名 準PE 43名 FE 130名 AF 33名 ST 2名 合計362名 (満期退会者 PE 5名 準PE 1名 FE 1名 AF 1名を処理したため上記の数字となる)</p> <p>3月末時点での会費未納者は ①2年分未納 約18名、②1年分未納 約30名。決算に影響するので、退会者をきちんと把握する必要あり。</p>	(会員部会)
<p>4. 2012年度JSPE方針・モットーについて 報告書の巻頭言に記載した内容につき説明、合意を得た。</p>	(会長)
<p>5. 2011年度決算 5月5日までに監事へ送付。書類稟議にて5月12日までに役員承認を取る。 (後日確認) その後、書類稟議にて役員承認を得た。(5月14日)</p>	(会計+監事) (会計部会)



議事内容	アクション
<p>6. 2012 年度予算案承認 40 万円程度の赤字予算となるが、その理由は</p> <ul style="list-style-type: none"> * 無料PEセミナーを開催し * 関西へも積極的に講師を派遣し、セミナーの充実を図る * 事業報告書の充実(前年比 5 割増) * 総会会場、イヤーエンドパーティーの充実 <p>7. 6 月総会準備 作業分担・スケジュールの確認 …GW 明け目処に</p> <p><第 1 部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・議案書は 5 月 10 日印刷完了が必須 ・総会開催案内&議決権行使書を 5 月 12 日までに発送する ライブ発信もしくはビデオをHPから閲覧可能とする <p><第 2 部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・NSPE Stone会長プレゼンテーション企画 …<渉外部会中心、当日実施は教育部会> * Stone会長へはLEADERSについてプレゼンを依頼する * 昨年のような討論形式がよいか？ <p><第 3 部></p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会レセプション 主として、参加者数の確認とホテルとの交渉…<部会を割り当てる> ・来賓リスト作成、案内の送付 * 表彰式が追加 <p>NSPE会長夫妻受け入れ準備…<渉外部会></p> <ul style="list-style-type: none"> Stone夫人が来日するかは未確認。 ・スケジュールの確認、ホテル予約など ・6 月 8 日(金)NSPE会長と関連団体との交流機会の設定 ・6 月 8 日(金)夕方 夫妻歓迎Diner ・6 月 8 日昼のLadies Programなど <p>8. 見学、セミナー計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜磯子火力見学のスケジュールリング？ 窓口となっていた担当の方の異動に伴い難航。見学コースが一般向けと同じとなるならばJSPEとして開催の意味はないであろう。 ・7 月NSF東京事務所長「米国科学技術政策(仮)について」 例えば、7 月 21 日第 3 土曜日午後 (会場は、日建設計・吉田氏お願いできないか？) 現NSF所長帰任に伴い、7 月の開催は中止。9 月来日予定の後任の方へ引き続き打診し、セミナー開催は秋、冬頃の実現を目指す。 ・X月メキシコ湾深海石油開発事故に関する情報調査タスク報告 講師(野本氏、須田氏 他)スケジュール次第であるが、東京開催は 8 月以降を予定。関西でも年末開催を企画したい(渋谷氏 他)。 ・CPD セミナー計画 英語による Negotiation シリーズ(全 5 回) 一昨年、開催して好評だった上記セミナーを再度、実施したいと考えています 海外ビジネスマンとオンラインで対面しながら交渉をしてゆく演習を通じて、英語力のみならず、交渉のコツを習得してゆきます。 講師:大塚雅文(MANABI 代表、講義時間:2-3 時間/一回、全 5 回: 費用: 未定、期間:5 月 26 日~9 月 2 日 <p>上記以外のセミナー案</p> <ul style="list-style-type: none"> * PE会員を講師としたセミナーが多数あってもよいのではないか？ (例:門野氏セミナーが非常に素晴らしかった) 	<p>(総括; 総務部会)</p> <p>(教育部会)</p>



議事内容	アクション
<ul style="list-style-type: none"> * 木内先生がエンジニアリングサロン開催を望んでいる * EUサイエンス担当/東京駐在の女性を鹿野さんに紹介してもらう * 日野さん知人の米国大使館の人へ打診 * 木村さん自身によるISPE関係セミナー * 木村さん知人の米国人エンジニアによるセミナー 	
<p>9. 7月NSPE総会派遣募集案 7月11日~7月15日開催。土屋会長、西川理事が参加予定。予算40万円。一般会員からも3名程度派遣できればと考える。募集案内作成担当：平山</p>	(渉外部会)
<p>10. 慶弔規定案 【対象】本会会員、ご本人の死亡時 【内容】一般会員の場合：会長名の弔電を発信するものとする。 役員、あるいは元役員を含む特別な功労者の場合：代表者が参列するものとする。 尚、代表の交通費および献花代(合計上限3万円)を会から支出できるものとする。 お金の問題ではなく、会員がこのような状況になったことを会としてきちんと把握していることが重要。よって、慶弔規定を内規として定める。 ただし、次の項目の修正を総務部会で検討する * 対象：役員およびその近親者を含める * 特別な功労者：表現があいまいなため、別途定める功労者とし総務部にてリストを作成 * 上限3万円は目安とする また、役員はこのような状況や長期出張の際には必ず理事会へ報告することとする(業務停滞防止)</p>	(総務部会)
<p>● 報告事項 1. 総会での会員表彰中間報告 現在のエントリー者 北林孝顕 PE-0158 大阪電通大「国際工学技術者育成セミナー」講師 渋谷高広 PE-0194 大阪電通大「国際工学技術者育成セミナー」講師 メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース 田尻明子 FE-0364 関西英語セミナー企画を実施し、実現 荻島 知之 PN-0074 メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース 須田 和典 PE-0154 メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース 野本 泰之 PE-0044 メキシコ湾深海石油開発事故調査タスクフォース 三宮 中 PE-0015 NSPE 総会参加し、米国 PE と交流。PE 価値等の発信 馬場 文典 PN-0062 NSPE 総会参加し、米国 PE と交流。関西・名古屋地区活性化 門野氏 決定は5月とする。Recognitionが目的でありRewardが目的でないため、本年は絞込みはせずに表彰するのがよいのではないか？</p>	(総務部会)
<p>2. メキシコ湾深海石油開発事故に関する情報調査タスクフォース進捗 報告書目次および概要のみ後程公開 約120ページの報告書。JSPEの著作となる。希望者へPDFで配信。NSPEとのビデオ会議、CDPセミナー、学会発表などにつなげられれば良い。</p>	(会長)
<p>3. 米国大使館 National Science Foundation 訪問報告 現所長帰任のため、総会出席および7月のセミナー開催は辞退された。後任者が9月に着任したのち、再度挨拶へ伺い、秋、冬頃“米国の科学技術政策”に関するセミナーを実現させたい。</p>	(渉外部会)



議事内容	アクション
<p>3. 事業報告書進捗状況 部会報告・仲間からの寄稿は一部を除いて提出済み。巻頭書・あとがき、その他残りの未提出の記事を含めると例年の50%増しのボリュームになることが予想される。 5月第一週に印刷業者に渡すスケジュールで作業中。</p> <p>・次回 5月19日(土)</p>	<p>(企画部会)</p>

承認	竹政一夫 
承認	岩下 哲 
承認	土屋雅彦 
記録作成	平山剛士 